

歴まち 便り

第4号

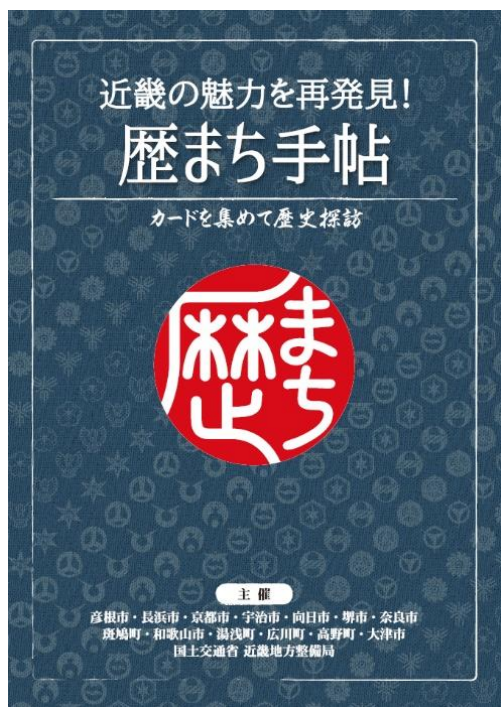
2023.05

京都市都市計画局景観政策課

～歴まち手帖を持って歴まち都市訪問～

歴まち手帖を無料で配布しています！

※来訪者1人につき1冊、手帖が無くなり次第終了



京都市の配布場所

京都市景観・まちづくりセンター

ひと・まち交流館
京都 地下1階

<住所>
下京区西木屋町通上ノ
口上る梅湊町 83 番地 1



京都市嵯峨鳥居本町並み保存館

嵯峨鳥居本伝統的
建造物群保存地区内

<住所>
右京区嵯峨鳥居本仙翁
町 8 番地



※各所 400 部配布予定
踏破賞はありません

【追悼】歴まち人からの便り ～〈歴まち〉と私 ①～

京都大学名誉教授 高橋 康夫

21世紀、早くも20年が経過しました。私はこの間、京の町家とまちづくりの歴史にはじまり、〈歴まち〉1期計画、ついで2期計画の策定をお手伝いするなど、京都の〈歴まち〉にかかわり続けることになりました。都市史の立場から文化遺産や〈まちづくり史〉、〈文化的景観〉〈歴史的風致〉の価値を伝え、また文化財保護行政と景観行政の架け橋となるよう努めてきたつもりです。微力ではありましたが、多くの関係者のおかげで、またとない経験をする事ができました。

まちづくりの歴史をかえりみることで、それによってまちづくり、とりわけ景観まちづくりを推進することは、京都の、さらには日本のこの20年の大きな社会的・都市的な課題になっていたと思います。こうした状況を背景として、2004年に「良好な景観の形成を促進する」ための景観法が制定され、同じ年に文化財保護法も改正されて〈文化的景観〉という文化財の新たなカテゴリーがつけられました。2008年には「良好な景観」を創出するためのいわばツールとして、歴史まちづくり法が制定されました。

いくつもの新規なことばがあらわれてきましたが、そのいずれにも核心に地域の自然、人々の生活と生業、歴史と文化、生活空間と文化遺産があります。良好な市街地環境を形成するそれらを守り育み、また創生することが大切だということなのでしょう。

この意味では「景観」まちづくり、「歴史」まちづくりというような区別がなくなるのが望ましい姿でしょう。さらにいえば、景観行政と文化財保護行政の統合が不可欠であるという方向性を示しているようにも思えます。実際、〈歴まち〉計画の実施をつうじて実践的な連携が進展しつつあるようです。ありがたいことです。



高橋康夫（たかはし やすお）

1946年生まれ。1969年京都大学工学部建築学科卒業。1995年京都大学工学部教授。2010年京都大学名誉教授。2009年京都市歴史まちづくり推進協議会（現在の名称は京都市歴史まちづくり推進会議）座長。京都市歴史的風致維持向上計画の策定及び推進に携わる。

1期計画の歴まちカード

わが町・わが行事 ～今宮やすらい祭～

やすらい花は、疫神を鎮める祭りであり、鎮花祭(はなしずめの祭り)の意味合いも持っています。春の花が飛散するとき、悪霊や疫神も共に飛び散るため、それを鎮めるために行われるようになり、次第に風流化し、人々は踊り狂いながら神送りをするようになりました。



今宮やすらい祭は、毎年4月の第2日曜日に開催されます。花傘(上に桜などの季節の花を飾り、幔幕を回した大きな傘)を中心に、大鬼(踊り手)は緋色の打掛をはおり、頭に赤熊や黒熊を被る服装をして、鉦や太鼓をたたき随所で踊りながら、氏子区域をくまなく練り歩きます。最後に神社に参拝し、無病息災を祈願します。

囃したり踊ったりするのは、豊かな稲の実りを祈るとともに、疫神を踊りのなかにまき込んで花傘へ誘うためといわれています。その疫神は今宮の神の力により花傘から疫神社へ遷され封じ込め鎮められます。



歴まち処 ～あぶり餅一和～

今宮神社東門前には、向かい合う一文字屋和輔とかざりやの2軒のあぶり餅屋があります。あぶり餅は、きな粉をまぶした一口大の餅を竹串に刺して炭火であぶり、甘い白味噌のタレにつけた今宮神社の名物で、平安中期を起源として伝えられ、食べると疫病が癒えと言われています。

一文字屋和輔(一和)は、今宮神社の歴史とともに古くから人々に親しまれており、建物は京都市の景観重要建造物となっています。今宮神社東門前では、昔から変わらず店前で焼くあぶり餅の香ばしい香りが広がり、参拝客で賑わっています。



【あぶり餅一和(一文字屋和輔)】京都市北区紫野今宮町69
アクセス：市バス46系統「今宮神社前」下車 徒歩2分
営業時間：10:00～17:00 電話番号：075-492-6852
定休日：毎週水曜日及び毎月1・15日(祝日の場合翌日休み)



で京都検定にチャレンジ！

(A) 疫病退散を祈願するやすらい祭が行われる今宮神社の名物として、古くから知られる餅はどれか。(第15回 2級 53問)

- (ア) 鳩餅
- (イ) おせき餅
- (ウ) あぶり餅
- (エ) 鎌餅

☞ 歴まち計画(2期) 2-28 頁を見てみよう。

歴まち事業の紹介

～今宮門前通歩道整備～
～今宮神社大鳥居修理～

今宮門前通は、今宮神社への参道にもなっており、周辺の豊かな緑とともに門前の景観が形成され、京都市眺望景観創生条例で定める視点場に指定されています。しかし、舗装の劣化が進行していたことから、「京の道づくり」として、歴史的景観と調和した舗装(石畳風舗装)整備を実施しました。



今宮神社の南参道にあり今宮神社の象徴でもある大鳥居が約5年ぶりに修復工事を終え、再建されました。

大鳥居は、平成29年の台風で損傷し、大きく傾いたため、平成30年から解体し修復工事を進めていました。修復工事には、地域の方々の寄付金の他、本市の景観重要建造物の補助金が活用されました。令和4年12月には、南参道大鳥居竣工奉祝祭が執り行われ、「渡り初め式」として修復した大鳥居がお披露目されました。

「歴まち計画(2期)」を読めば、京都検定3級合格に近づくかも！
今回は今宮神社・大徳寺周辺の問題にチャレンジしてみます。

(B) 4月の第2日曜日にされる今宮神社の祭礼で、春に流行する疫病を鎮めることを目的に、花鎮めのまつりとして始まった行事は何か。(第17回 3級 43問)

- (ア) 田植祭
- (イ) 名月管絃祭
- (ウ) やすらい祭
- (エ) 鞍馬の火祭

☞ 歴まち計画(2期) 2-27 頁を見てみよう

(4) (8) (4) (4) (4)



京都市
CITY OF KYOTO



京都市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



発行：京都市都市計画局都市景観部景観政策課

住所：京都市中京区寺町通御池上る上本能寺前町488番地

電話：075-222-3397 FAX：075-213-0461